

豊作願って町内小、中学校で田植え

5月28日、東川中学校（鍛冶川明校長）、東川第一小学校（大島峰夫校長）でそれぞれ、学校田の田植えをしました。みんな手植えし、出来秋が待ち遠しい春到来です。

東川中の学校田「羽衣田」は、羽衣公園の一角にある約20ア。毎年1年生が田植えの担当です。3クラス約70人が素足になって水田に入り、町内の農家が育てた「おぼろづき」の幼苗を手植えしました。



第一小田植え

借りて全校生30人が田植えしました。サツエおぼあちゃん（78）が田植えの先生です。「まっすぐに植えてね」とコツ（？）の伝授を受けて「手も足もドロだらけだべさあ」と楽しそうに「ほしのゆめ」を植え付けました。3、4年生はこの後、総合学習で生長観察をします。出来秋にはみんなで特製おにぎりを食べる予定です。

この後途中の草取りは2年生の担当。9月末には約10俵（1俵60kg）の収穫を見込んでいます。

第一小では、毎年近くの農家の田んぼを借りています。今年は、となりの谷地本修也さん（50）の一角を



東川中田植え

東川第三小学校（吉田顕康校長）ではこのほど、花本建設（旭川、花本金行社長）が校舎建物周囲の敷地整備のボランティア作業をしました。古い樹木、枝せん定後の処理、校舎建物周囲の大規模な敷地整備に困っていたところ、近くの同社資源リサイクル部事業所の社員がダンパーや重機を持ち込んで、ボランティア

プロバスケット「ランカント」の選手が来て

6月18日、本道のプロバスケットチーム「レラカムイ北海道」の朝山正悟選手（27）、勝又稯次選手（26）の2人が東川小にやってきました。拍手で迎えた子供たちは、初めて身近で接するプロ選手に大感激。約1時間の練習でしたが、基本をしっかりと習って自信をつけたようです。



東川小、東川第三小で構成している東川ミニバスケットボール少年団の13人と、旭川市立志和小ミニバスケットボール少年団の11人が指導を受けました。おそろいのTシャツに着替え、ドリブルの基本や、ボールを手に慣らすためのボール回しの練習を中心に、体育館狭しと動き回りました。日ごろの練習と比べものにならない目の輝きでした。朝山、勝又両選手は、ともに今季旧OSGフェニックス東三河（現浜松・東三河フェニックス）から移籍してきた期待の新鋭です。

第二小の校舎周囲がボランティアできれいになり整備

アで整備をかって出てくれました。きれいに整地した後は、トラック7台分の切り込み砂利も敷いてすっかり見違えるようになりました。同校では、5月上旬から約2週間かけて、PTAの父兄や地区の老人会の会員約50人も学校花壇整備に汗を流し、見違えるほどきれいに花々が咲き誇るようになりました。



6月21日、大雪山系旭岳が今季の山開きをしました。

ふもとの旭岳温泉、勇駒別神社で山の無事故を願って安全祈願祭を行い、その後青少年野営場で地元旭川・近文アイヌの人たちが伝統の儀式、ヌプリコロカムイノミで山の神に今季の無事故を願いました。

安全祈願祭は、松岡市郎町長、浜辺啓東川町観光協会会長、庄内孝治東川山岳会代表、大雪山愛護少年団（椎名俊文団長）ら約40人が出席しました。

祈願祭の後は、青少年野営場で夏山シーズン・インを祝って、ジギンスカンパーティー。温泉街に宿泊している海外からの観光客も見守る中旭岳自然保護監視員、ネーチャーガイドら13人が恒例の創作劇で地球温暖化を防ぐエコ活動を訴えました。夜に入って山の神を迎えるキャンプファイヤーに火がつくと、いよいよメイン行事、ヌプリコロカムイノミの儀式です。約30人のアイヌの人たちが1年の山の安全を願って厳かに山の神に祈りをささげ、伝統の歌と舞いを奉納しました。



ヌプリコロカムイノミの儀式

有機無農薬米と札幌の消費者がつながる交流の集い

有機無農薬米、減農薬米を生産している町内の2生産者と札幌市内の消費者グループが直接交流を続けて今年で満20年を向かえ、6月7日、札幌のグループ会員約50人が来町して「交流20周年の集い」をしました。



安全な米で交流を続けてきたのは、有機無農薬米生産の道内草分け的生産者、30区の佐竹良洲さん（59）と、減農薬・減化学肥料米生産を続けてきた12区の松林直樹さん（57）。ヨガサークル「札幌ビューティー

敷地に、滅菌センター、物流センター、製造工場を順次併設し、平成24年ごろ全体完成を予定しています。今回着工したのは、滅菌センター（鉄骨造り平屋建て延べ約2千平方メートル、建物建設費約2億2千300万円）。今年9月末ごろの完成予定です。

日本メディカルプロダクツ社、東川工場いよいよ着工

医療用マスク、用具の国内大手、日本メディカルプロダクツ株式会社（旭川、山本倫生社長）の東川工場（北町11丁目）が建設着工しました。5月30日、関係者約30人が出席して起工式を行い、本町からは三宅良昌教育長が出席して工事の無事完成を祈りました。



鍬入れした山本信男会長